もしも

住宅用火災警報器が鳴ったら

一般財団法人　日本防火・防災協会

はじめに

住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）は、平成 18 年から新築の住宅に設置が義務付けられるとともに、既存の住宅についても平成 18 年から平成 23 年までの間に、それぞれ市町村の条例により義務付けられています。

消防庁が住警器の設置状況について公表した平成 26 年 6 月 1 日時点での調査結果によると、市町村の火災予防条例において設置が義務付けられている住宅の部分のうち、1 箇所以上設置されている世帯（条例適合世帯を含む。）の全世帯に占める割合は 79.6%、このうち、条例に適合するように設置されている世帯は 66.9%とされています。

住警器は、火災により発生した煙（熱）を感知し、火災が発生したことを音声等の警報により知らせるものであり、火災が発生した部屋に設置されていると、初期の時点で火災を発見することができます。

したがって、住警器は、条例で設置が必要とされる部分に適切に設置することにより、火災の発生をいち早く感知し、警報を鳴らすことにより、住宅に住んでいる人が初期消火や避難、119 番通報などの対応を迅速に行うことができ、火災による被害を最小限に食い止めることが期待されます。

そのためには、住警器を必要とされる部分に設置し、かつ、適正に維持管理することが重要となります。また、住警器の寿命は、おおむね 10 年とされており、10 年以上経過した場合には、本体ごと交換する必要があります。

住警器を設置したからといって、火災の発生そのものを防いでくれるわけではありませんので、日頃から火の管理をしっかり行い、火災予防を心がけることが重要です。

一方、万が一に備え、住警器が鳴動したら、具体的にどのような順番でどのように行動しなければならないのか、ふだんから考えておかないとなかなか行動できないものです。

この冊子は、住警器及び住宅用消火器（エアゾール式簡易消火具）が設置されている住宅において、住警器が鳴動したときに、火災を確認する、消火する、周りの人に知らせる、逃げる、さらには消防機関に通報するなどの取るべき行動を、分かりやすく取りまとめたものです。

日頃からこの冊子を活用していただき、火災が発生したときに落ち着いて行動することにより、火災による被害の軽減に少しでも役に立てることを期待しています。

平成 26 年 12 月

総合的な住宅防火対策等の啓発に関する検討委員会

この冊子を活用しましょう！

この冊子は住宅用火災警報器が鳴ってからの、
家庭内での一連の行動を確認していただくためのものです。
住宅火災から大切な生命・身体・財産を守るためにも、
ぜひご活用ください。

目　次

はじめに

はじめに …… 1
この冊子を活用しましょう！ …… 2

いざというときのために…

住宅用火災警報器が鳴ったら… …… 4

①消火する

1-1 消火するか …… 6
1-2 住宅用消火器・エアゾール式簡易消火具で消火をしよう！ … 8
1-3 火を消すことができたら …… 10

②周りへ知らせる

周りに知らせよう …… 12

③避難する

避難しよう …… 13

④通報する

消防に通報する …… 14

⑤火災ではないのに鳴る場合（非火災報）

火災ではないのに、住警器が鳴る場合があります …… 16

contents

住警器のメンテナンス

日頃からメンテナンス・点検をしましょう …… 18

家庭内の注意ポイント

家庭内の注意ポイントをチェック！…… 20

防災機器設置例

住宅用防災機器の設置例…… 22

機器の紹介①

住警器の種類…… 24

機器の紹介②

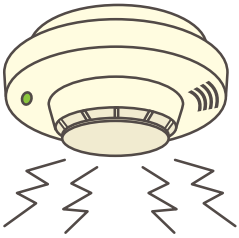
住宅用消火器・エアゾール式簡易消火具の種類等 …… 26

まとめ

家族で考えよう…… 28

住宅用火災警報器が鳴ったら…

まずは、落ち着いて火災かどうかを確認！



スタート！

火元の確認

どこの住宅用火災警報器が鳴ったか？
何が燃えているか？

火災

消火するか？

▶▶▶6頁へ

する

周りに知らせながら

▶▶▶12頁へ

住宅用消火器等で火を消す

▶▶▶8頁へ

できた

消火

▶▶▶10頁へ

火災が発生？まずすることは？
このフローチャートに沿って行動しましょう。

火災ではない

火災ではない場合

火災ではなく、こんな状況で
住宅用火災警報器が
鳴る場合があります

▶▶▶16・17頁をチェック！

しない

できない

周りに知らせながら

▶▶▶12頁へ

逃げる

▶▶▶13頁へ

消防に通報する

▶▶▶14頁へ

1-1 消火するか

消火の判断は？

住宅用火災警報器（以下「住警器」）が鳴った段階では、どの部屋でどのくらいの大きさの火災が発生しているか、はっきりとはわかりません。そのため、まずは現状を確認することが大切です。以下のポイントに留意して、消火・避難の判断ができるようにしておきましょう。

消火する？しない？

●消火する

- ☑火元が確認できる（視界がきく）
- ☑炎が天井や自分の背丈よりも小さい

●消火しない

- ☑火元が確認できない（煙の充満等で視界がきかない）
- ☑炎が天井に届いていたり、自分の背丈よりも大きい

消火するときは！

●落ち着いて安全確認を

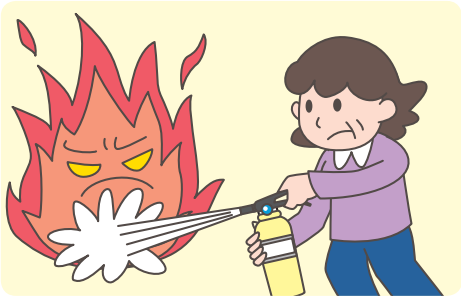
避難する方向、経路など周囲を確認しましょう。

●住宅用消火器は確実に操作しましょう

火元を狙って放射しましょう。

●以下の場合、速やかに逃げる判断をしましょう

・住宅用消火器の消火剤がなくなった。
・炎が天井まで届いてしまった。
・消火できなかった。



コラム

防災訓練等に積極的に参加しよう

実際に火事を目の前にすると慌ててパニックを起こしてしまうものです。日頃から自治体等で行われている防災訓練に積極的に参加し、いざというときは訓練を思い出して行動しましょう。

1-2 住宅用消火器・エアゾール式簡易消火具

住宅用消火器を使用する際のポイント

住宅用消火器は、住宅内における初期の火災に有効です。

⇨ 住宅用消火器の種類等については 26 頁へ

消火剤を放射する

住宅用消火器で消火するときは、炎ではなく、火元を狙い、最後まで消火剤を放射してください。

操作方法

①安全栓を引き抜く

②ノズルを火元に向ける

③レバーを強く握る

消火の注意点

燃えているもの	注意点
天ぷら油鍋	消火剤の勢いで油が飛び散り炎が拡大し、思わぬけがの原因になることもあるので、2～3 m離れて放射しましょう。
電気製品	感電のおそれがあるので注意しましょう。
石油ストーブ	給油中に出火した場合、周りに灯油が飛び散っていることもあるので、石油ストーブの周囲から消火していきましょう。

一度消えたように見えても再度発火するおそれもあるので、十分に消火できているか確認しましょう。

エアゾール式簡易消火具を使用する際のポイント

エアゾール式簡易消火具は、天ぷら油火災などに有効です。

⇨ エアゾール式簡易消火具については 26 頁へ

●安全な距離を確保する

火元から 2 ～ 3 m 離れたところから放射すると安全です。

●消火剤を放射する

火元に向けて放射を続けます。

●完全に消火する

再発火を防ぐため、最後まで放射します。

住宅用消火器とエアゾール式簡易消火具の消火力は異なります。エアゾール式簡易消火具は消火力に限界があるので、ごく初期の消火の場合には効果があります。

1-3 火を消すことができたら

火が消えたら、チェックすること

- ☑ 完全に火が消えたか確認する。
- ☑ ガスを使用していたら元栓を閉める。
- ☑ 電気製品から出火した場合は感電に気をつけて
  - ・コンセントを抜く
  - ・ブレーカーを落とす
- ☑ 119番通報する。

コラム

やけどを負ってしまったら？

応急処置として、速やかにやけどした箇所とその周辺を水で冷やしてください。

着衣が燃えてやけどした場合は衣服を無理に脱がさず、そのまま冷やしましょう。

消火後の掃除方法

住宅用消火器の使用後は、放射した液体や粉末が床や壁等に広がっています。

- **液体の場合は、ぞうきんなどできれいに拭き取りましょう。**
- **粉末の場合は、ほうきなどでかき集めてからきれいにし、その後は水拭きや掃除機をかけるなどしてください。**

液体、粉末ともに、水が使用できる場合は洗い流しましょう。

※フィルター式掃除機の場合は、排気口から粉末が飛散する可能性があります。

コラム

住宅用消火器で放射した消火剤が体についたら？

住宅用消火器から放射された消火剤が体についたり、目に入った場合は水で十分に洗い流しましょう。

また、消火剤を吸い込んだ場合はうがいをしましょう。

周りに知らせよう

大声で周りに知らせる

火災を周りに知らせるときには「火事だー」と大声で叫んでください。火災による被害を最小限にするためには、周りに知らせることが必要です。

●家の中に家族がいる場合

家族に知らせ、協力して消防への通報や消火などを行いましょう。

●一人暮らしの場合

隣近所の住民に知らせましょう。通報や消火の協力を依頼しましょう。

コラム

避難路の確保を

高齢者のいるお宅などは、あらかじめ就寝する部屋を避難のしやすい場所にしましょう。

避難しよう

避難と判断したら

避難のポイント

- ☑持ち物などにこだわらず、身の安全が第一です。
- ☑一度逃げたら絶対に戻らないようにしましょう。
- ☑高齢者や身体に障害がある方がいる場合は、避難を優先させましょう。
- ☑火元から離れるように逃げましょう。
- ☑家族がいる場合、逃げ遅れがないように避難しましょう。
- ☑逃げ遅れた人がいる可能性がある場合は、消防隊に伝えましょう。

コラム

煙に注意して避難しましょう！

●煙の特徴

煙は高いところからたまり、煙の量が増えると床近くまで下がってきます。

●煙から逃げるポイント

タオルやハンカチ等で鼻と口を覆い、姿勢を低くして逃げます。この際、煙を吸い込まないように注意しましょう。

消防に通報する

119 番通報のポイント

慌てずに落ち着いて、正しく情報を伝えることが重要です。

●固定電話からの通報

電話のそばに自宅住所や目標物を書いたメモを備えておきましょう。

●携帯電話からの通報

・携帯電話であることを伝えましょう。
・電話番号は必ず伝えましょう。
・状況確認のため、消防本部から連絡がある場合があります。

(((消防に通報すると)))

「119」をプッシュ

消防です。火事ですか、救急ですか？

火事です！！

住所はどこですか？

○○市（○○区）○○町
○○丁目○○番地、○○○です

◀出火場所の住所と名前を伝えます。

近くに何か目標がありますか？

○○の近くです

◀目標となる建物や交差点などを伝えます。
例：○○小学校の西側です。

何が燃えていますか？

○○が燃えています

◀燃えている場所、物を伝えます。
例：住宅の１階台所近くから火が出ています。

燃え方やけが人は？

けが人が一人います
○○が逃げ遅れています

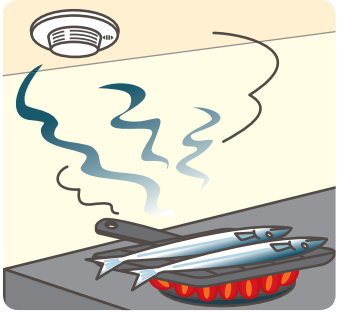
◀火災の様子・けが人の状況を伝えます。
例：天井に火が届いています。燃え広がっています。
：高齢者が足にやけどをしています。
：２階に子どもがいます。

火災ではないのに、住警器が鳴る場合があります

調理時の湯気や煙等に反応して鳴るときがあります。また、住警器本体交換の時期が来たときなどにも鳴るため、まずは状況を確認することが必要です。

調理時の煙・湯気

調理時の煙、湯気が住警器に直接かかっていた場合、住警器の場所を変える等してください。

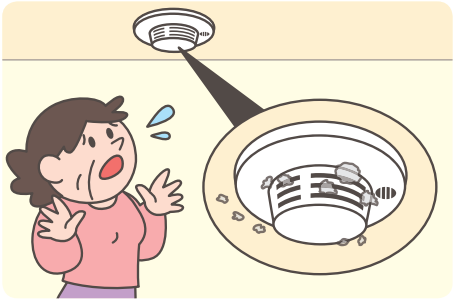


燻煙式殺虫剤

煙がかからないように、住警器をビニール袋などで覆うか、取り外して使用してください。

ほこり、小さな虫など

住警器の煙の感知部分にほこりや小さな虫などが付着すると鳴る場合がありますので、定期的にお手入れをしてください。



●たばこの煙

喫煙中に作動することは少ないのですが、住警器に直接煙がかからないように注意しましょう。

●住警器本体の交換時期

交換の時期がくると鳴って知らせる機種もあります。警報音停止ボタン等を押し、住警器本体を交換してください。

(((鳴りやまない場合は……)))

警報音の停止ボタン等を押してください。

→

鳴りやまない場合は、故障のおそれがあるので、取扱説明書を確認してください。

日頃からメンテナンス・点検をしましょう

住警器は長く取り付けている間に感知部分にほこりが付いたり、台所に設置してある場合は油や煙で汚れて、火災を感知しにくくなることがあります。いざというときに効果を発揮するためにも、日頃から定期的なメンテナンス・点検をしましょう。

●お手入れ方法

ほこり、小さな虫などは誤作動の原因にもなるので取り除き、年に一度家庭用の中性洗剤などに浸し、固く絞った布で軽くふき取ってください。

※ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

※故障の原因になるため水洗いはしないでください。

●定期的に点検しましょう

住警器から下がっているひもがある場合やボタンが付いている場合は、これらを引く、押すなどして作動試験を行います（1 か月に 1 回程度が望ましいです）。

●交換の時期

住警器本体の交換は、おおむね 10 年を目安にしてください。
交換時期は、住警器本体からのブザーや音声などでわかります。

●廃棄方法

・交換後の住警器や電池はお住まいの地域のルールに従って廃棄してください。
・廃棄するときは、住警器本体から電池をはずすこともお忘れなく。

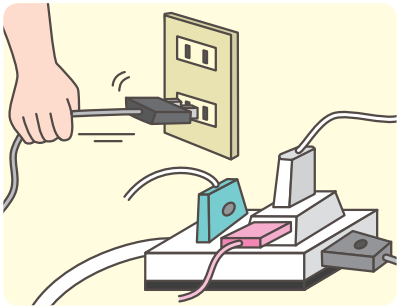
家庭内の注意ポイントをチェック！

☑キッチン

□調理中は、その場から離れないようにしましょう。
□ガスこんろの周りには物を置かないようにしましょう。
□ガス器具は、専門業者等に定期的に点検を依頼しましょう。

☑電気器具・配線

□プラグとコンセントの間にほこりが溜まらないよう、定期的に掃除しましょう。
□コードは、家具の下敷きにならないようにしましょう。また、コードはプラグ部分を持って抜きましょう。
□たこ足配線はやめましょう。



☑子どものいるご家庭は…

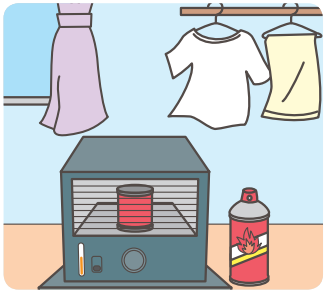
□ライターなどは、子どもの手が届かないところに置きましょう。
□花火やたき火は燃え移りやすいもののそばではせず、必ず水の入ったバケツを用意し、終わったら完全に火を消しましょう。

☑たばこを吸う方がいるご家庭は…

□寝たばこはしない、させないようにしましょう。
□喫煙場所を決め、灰皿に水を入れておきましょう。
□吸い殻を捨てる場合は、完全に消えていることを確認しましょう。

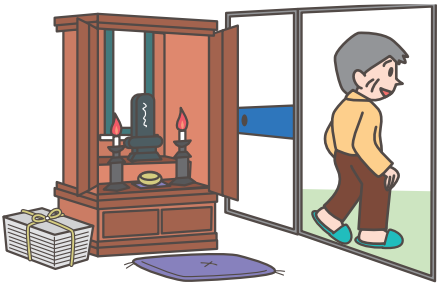
☑ 暖房器具

□石油ストーブの給油は、完全に火を消してから行いましょう。
□暖房器具の周りには、燃えやすいものを置かないようにしましょう。
□暖房器具の前にスプレー缶を置かないようにしましょう。



☑ 線香・ろうそく

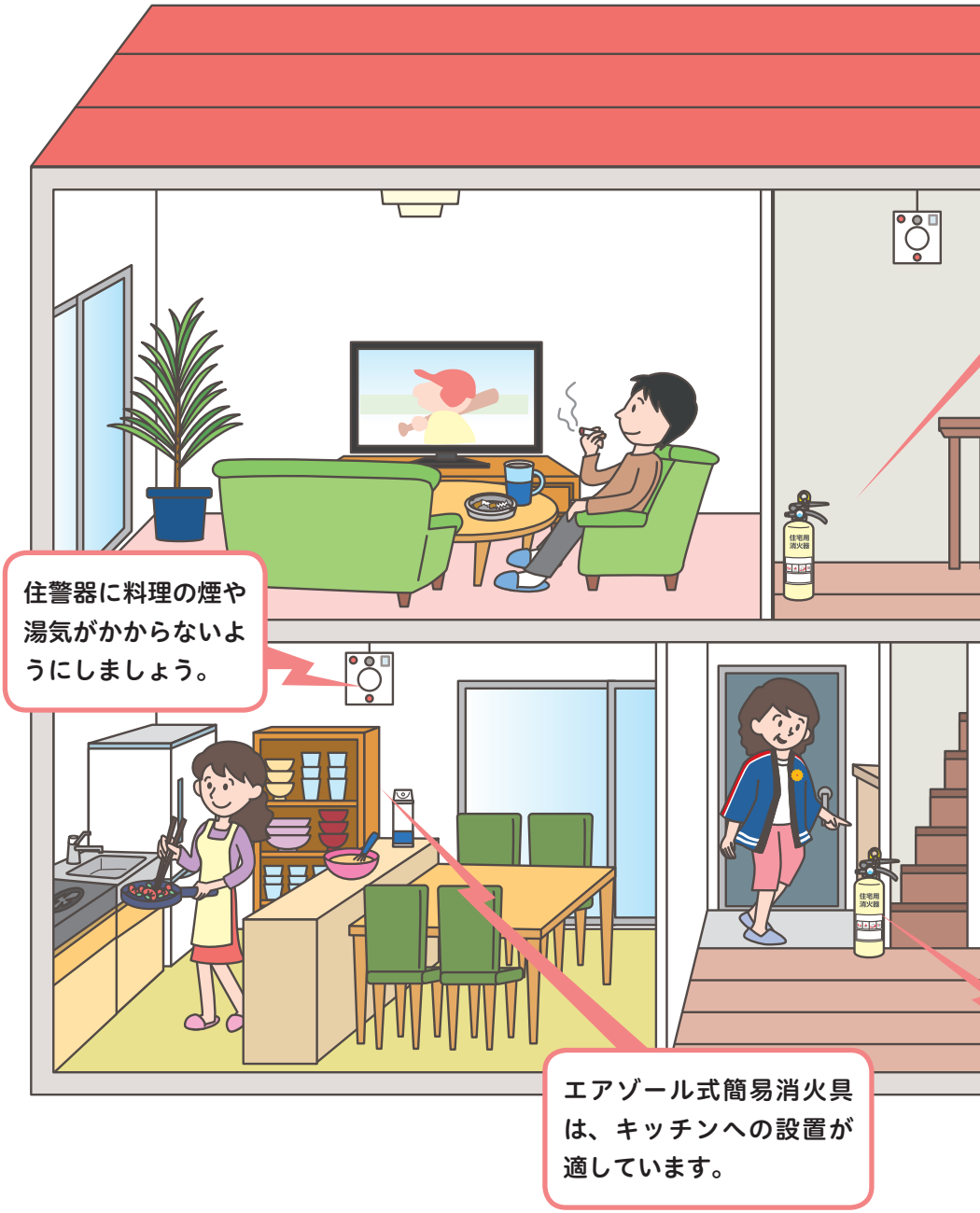
□外出時は必ず線香、ろうそくを消しましょう。
□ろうそく立ては、倒れにくいものを使いましょう。



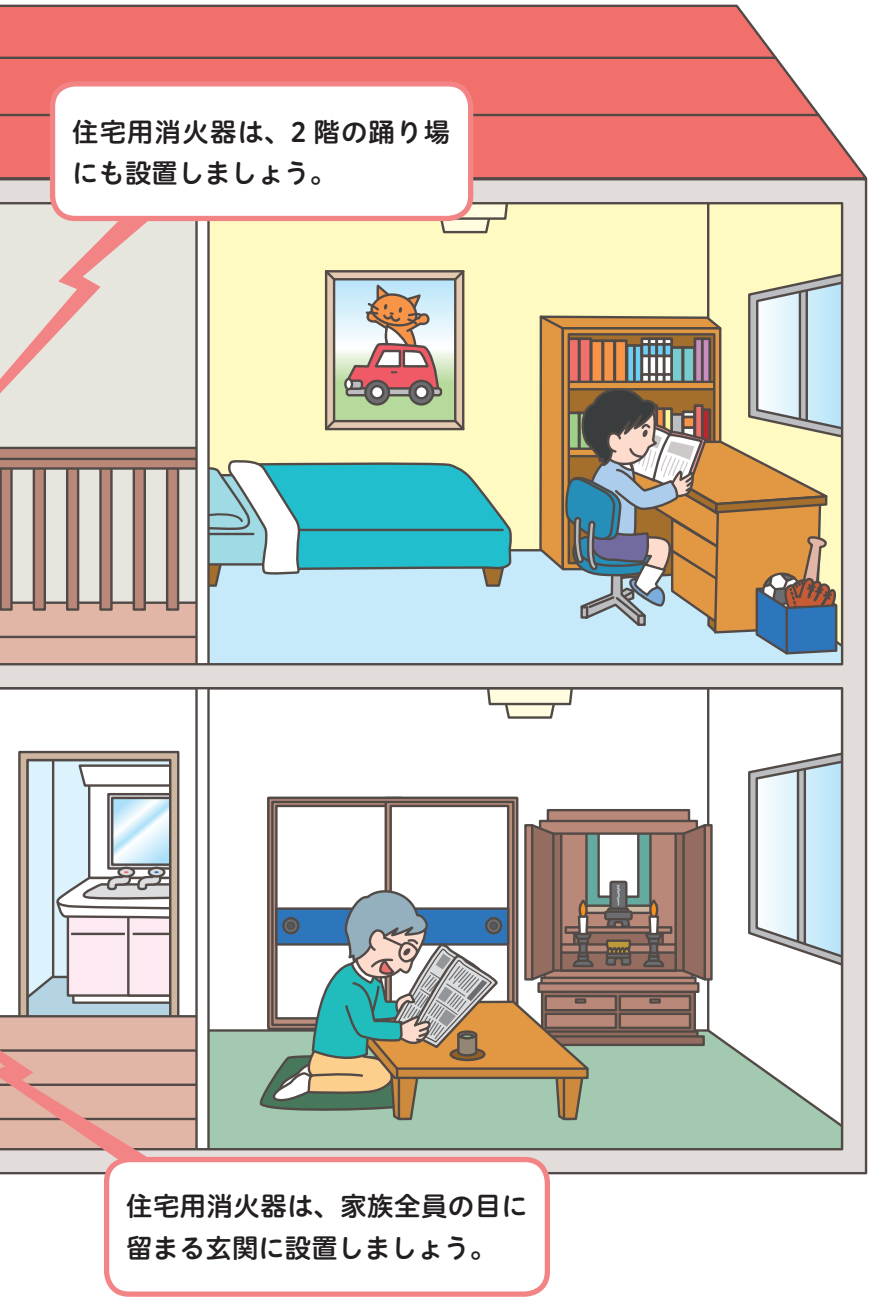
☑ご家庭での放火対策

□家の周りに燃えやすいものは置かないようにしましょう。
□車・バイクのカバーは、防炎品を使用しましょう。
□物置にも鍵をかけましょう。

住宅用防災機器の設置例



住警器は、正しい位置に取り付けていたとしても、
火災以外で鳴る場合がありますので注意しましょう。



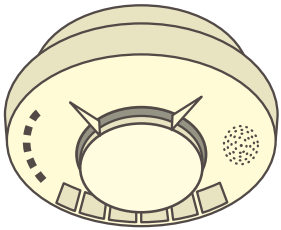
住警器の種類

住警器とは…

煙や熱を感知して火災の発生を知らせます。現在市販されているものは「煙式」と「熱式」で、ガス漏れを検知するものもあります。

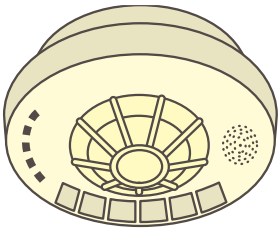
●煙式

煙を感知して火災と判断します。熱式よりも火災を早く感知することができます。



●熱式

熱を感知して火災と判断します。煙が発生しやすい場所（台所や車庫）に適しています。



●複合式

火災と同時にガス漏れや一酸化炭素も検知する警報器です。キッチンなどへの設置がお勧めです。

＜LP ガス用＞

＜都市ガス用＞

(((購入方法等について)))

設置方法

●新築、改装を計画されている場合

住宅メーカー、工務店にお問い合わせください。

●自分で取り付ける場合

販売店にお問い合わせください（「住宅防火対策推進協議会」のホームページに掲載されています）。

このほか住警器に関する質問は「住宅用火災警報器相談室」でも受け付けています。　⇨ フリーダイヤル 0120-565-911

購入方法

・購入する際には、「住宅防火対策推進協議会」のホームページ等に掲載されている販売店等をお勧めします。なお、消防署が販売することはありません。

・ホームセンター等で購入する場合は、住警器の品質を保証する検定の合格表示、または日本消防検定協会の NS マークが付いているものを選びましょう。

NS マーク（認証マーク）	合格表示（検定マーク）
NS 日本消防検定協会	検
※平成 31 年 3 月 31 日までは、このマークが付されたものが販売されている場合もあります。	※平成 26 年 4 月 1 日以降の検定に合格したものは、このマークとなります。

住宅用消火器・エアゾール式簡易消火具の種

住宅用消火器とは…

住宅火災に適した消火器として、誰にでも安全に簡単に操作できることが特長です。使用期間、または期限が本体容器に表示されており、消火剤の詰め替えはできません。

●住宅用強化液消火器

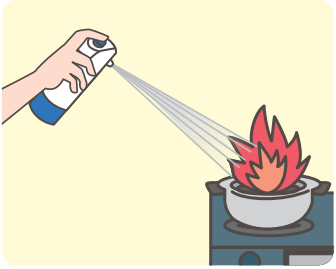
天ぷら油による火災により効果を発揮します。火元が見えやすく、炎の確認が容易です。

●住宅用粉末消火器

住宅内の火災に対応できます。狭い部屋で使用する場合は、粉末が充満し、視界が悪くなる可能性があります。

エアゾール式簡易消火具とは…

スプレータイプの消火具なので、身近なところに置いて、素早く使えることが特長です。女性や高齢者も簡単に使えます。



(((購入方法等について)))

住宅用消火器

●購入方法

ホームセンターや消防設備業者を通じて購入できます。またはメーカーまでお問い合わせください。

●廃棄・リサイクル方法

消火器の廃棄をする場合は、「消火器リサイクルシール」が必要です。消火器にシールが貼られていない場合は、下の「既販品用消火器リサイクルシール」を指定引取場所（メーカー営業所等）または特定窓口（消火器販売店等）で購入し、消火器に貼り付けて、これらの場所にお持ちください。

ご不明な点は、㈱消火器リサイクル推進センターまでお問い合わせください。

⇨ TEL: 03-5829-6773　http://www.ferpc.jp

既販品用消火器
リサイクルシール▶

エアゾール式簡易消火具

●購入方法

ホームセンターなどで購入できます。

●廃棄方法

取扱方法、廃棄方法については、取扱説明書をよく読み、必ず中身を使い切り自治体のルールに従って廃棄してください。

不明な点はメーカーや購入した店舗にお問い合わせください。

家族で考えよう

日頃の準備が大事です

まずは火災を起こさないための環境や習慣づくり、いざというときの心構えを身に付けることが大切です。

火の用心

●家族で話し合い

火災を起こさないよう、万全の備えをすることが一番ですが、万が一起こしてしまった場合には、家族全員が冷静に行動することが、被害を最小限にとどめるためにも重要です。日頃から消火器の置き場所や使い方についても家族で話し合い、確認しておきましょう。

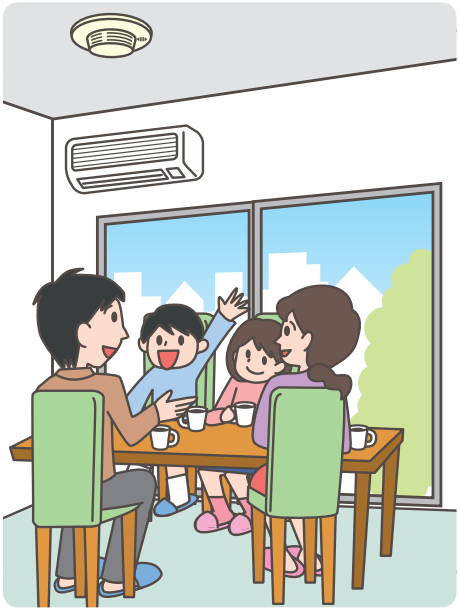
●避難方法の確認

家庭内における避難方法を複数決めておきましょう。

●ご近所付き合い

火災などの災害時に支援が必要な方の住まいやその周囲の環境などを掌握して、いざというときに助け合うことが大切です。

日頃からご近所と連携した協力体制をつくっておきましょう。



住宅防火いのちを守る７つのポイント
３つの習慣・４つの対策

３つの習慣

- ☑ 寝たばこは、絶対やめる。
- ☑ ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ☑ ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

４つの対策

- ☑ 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ☑ 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- ☑ 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ☑ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

もしも住宅用火災警報器が鳴ったら

平成26年12月発行

編集・発行：一般財団法人　日本防火・防災協会

〒105-0001　東京都港区虎ノ門 2-9-16　日本消防会館 5 階

電話　03-3591-7121 ／ FAX　03-3591-7130

URL　http://www.n-bouka.or.jp

印刷・製本：東京法令出版株式会社